

令和5年度自己評価結果公表シート

作成 幼稚園型認定こども園

太平寺幼稚園

1、本園の教育目標

未来社会を生き抜く心身共に豊かな人間性の基礎を養い基本的生活習慣を身につける。

・楽しい集団生活の中で一人ひとりの健全な心身の基礎を培う

・基本的生活習慣・態度を育て、豊かな心情や思考力を培い、意欲や思いやりのある子どもを育てる。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

より良い幼児教育を目指すために教職員間で次のことについて共通理解を図る。

・子どもの安心安全を図る。

・保育環境の見直しと充実を図る。

・ICT化により保育の質の向上を図る。

・乳幼児保育への理解を深める。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
子どもの安心安全を図る。	子どもの身体的にも心理的にも安全が守られるように安全への意識を高めてきた。園児では交通安全教室や避難訓練、防災や防犯、プライベートゾーンのお話会を行った。また、学校安全計画やバスの置き去り防止、園外保育での安全確認のマニュアルの見直し、不適切保育やハラスメント防止のための取り組みを行った。今後、人権教育を推進していくと共に、一人ひとりが問題意識を持って、自主的に動くことが出来るように組織運営を行いたい。
保育環境の見直しと充実を図る。	季節の遊びや栽培活動、運動遊び、室内遊び、絵本などの環境を充実させた。子どもたちが環境に主体的に関わることで遊びが生き生きと豊かになる経験をしてきた。今後、子どもの遊びの事例を記録していくことを通して、遊びの意味や子どもの育ちを共有し、さらに保育環境を豊かにしたい。
ICT化により、保育の質の向上を図る。	保育の可視化により子どもの姿や保育内容を教職員間や保護者の方と共有し、子ども理解を深め、保育の質の向上を目指した。また、ICTの利用により業務の効率化を図っている。次年度から本格的にICTを導入出来るように環境整備を引き続き行う。
乳幼児保育への理解を深める。	0歳児保育が今年度より始まった。乳児の保育環境の整備や保育計画、食育計画などの作成や見直しを行った。 0から5歳児の育ちを繋げるために園内研修を充実させると共に、その土台となる乳児保育の質の向上を図りたい。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員で問題意識を持ちながら取り組む姿が見られます。
ICT の活用は時代の変化の中で必要となるが、何のための ICT 化なのかを考えながら保育の質の向上に繋がるように活用して行きたい。
それぞれが自己評価する中で、意識も高まり、これからの取り組みを具体的にしていける計画性が出来ています。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
子どもの安全を図る。	危機管理マニュアルや学校安全計画の見直し、園内研修等を通して、安全に対する意識の向上を図り、職員一人ひとりが自分事として捉え、自主的に動くことが出来るようにする。子どもの安心安全が守られるように人権教育を推進する。
協働的な組織運営を行い、教育の質の向上を図る。	園内研修を充実させ、子どもの姿から園の子どもたちの課題を読み取り、根っこの課題を共有することにより、組織的に教育の質を高める。
保育環境を豊かにする。	子どもが興味関心を持って、主体的に関わり、学びを深めていく保育環境を考察し、充実させる。
特別支援教育の充実を図る。	子どもの発達への理解を深めると共に誰もが充実した日々を過ごすために協働しながら特別支援教育の充実を図る。
ICT の活用により、保育の質の向上を図る。	ICT の活用により、子どもの育ちを教職員間や保護者と共有することにより、保育の質の向上と業務の効率化を図る。
0～2 歳児保育の充実を図る。	0 から 5 歳児の育ちを繋げるために園内研修を充実させると共に、その土台となる乳児保育の質を向上させる。

6、学校関係者の評価

今年度は基本的な感染防止対策を行いながら対面での行事を積極的に行った。行事をクラス毎で行うなどの工夫を行うことによって、子どもの実状に合わせた保育を考えるようになった。また、0 歳児保育が始まった。
不適切な保育や子どもの置き去り、食事中的事故、ハラスメントも問題になっている。研修や様々な知見から学び、子どもの安心、安全に繋がる保育を行って欲しい。
低年齢児の子どもを受け入れているので、乳幼児保育が充実するように努力して行って欲しい。子どもの人権を大切にして、保護者の方と共に子どもの成長を喜べる保育を行って欲しい。
その他、特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。